

## 韓国における加湿器除菌剤による健康被害について

松尾 克郎（正会員）

ある会合で、韓国における加湿器除菌剤による死亡事故が話題となった。日本ではほとんど報道されなかったこともあり、本件を知る人は少ないようである。会員の皆様もご存じない方もいらっしゃるかと思い、この場を借りて概要を紹介したい。なお、伝聞情報に基づくコラムということで、誤りがあるかも知れないがご容赦をお願いしたい。

韓国の冬にはオンドルという床暖房がつかわれる。気持ちの良い暖房であるが、室内は乾燥しがちなので加湿器が用いられるようである。手入れを怠れば、加湿器内部にはカビが生えてしまうため、その対策として加湿器用除菌剤が販売されていた。韓国で原因不明の肺炎による死者が冬から春先に多いことから調査が行われ、加湿器用除菌剤が疑われた。原因の特定までには時間を要し、韓国福祉保健省は加湿器用除菌剤が原因であるとして6種の製品(成分として2種)に対して回収命令を出した。被害者は死亡者112名、患者247名、被害者数最大800万名(おそらく使用者数)とのことである。この製剤は、医薬外品(日本でいう医薬部外品)の扱いではなかったが、現在では医薬外品としての承認が必要になったようである。ちょうどこの時期に「化学物質の登録及び評価等に関する法律」の制定準備が進められていたが、この事件の影響により、消費者向けの化学物質製品を「危害憂慮製品」とする区分を設け、2015年1月1日から規制されることとなった。

さて、日本ではどうであろうか？ 小生は買い物の時についつい製品のラベルを読んでしまう癖がある。化学物質(混合物)でありながら、法の狭間にある製品が多いことに驚かされている。先日行きつけの店舗の片隅に加湿器の水に添加する除菌剤を見つけ、目が点になってしまった。成分は所謂アロマであり一安心したが、「俺は洗うよ」とつぶやき棚に戻した。

### 参考

- 1) Kim K. W. et al., Humidifier disinfectant-associated children's interstitial lung disease, *Am. J. Respir. Crit. Care Med.*, 189(1), 48-56 (2014)
- 2) 厚生労働省, 韓国の加湿器用除菌剤の回収についての情報提供, 平成23年12月27日